

森林湖沼環境税に関する県民アンケート調査結果について

- ・森林の保全については、個人の42.4%、法人の60.3%が「成果が出ている」または「どちらかといえば成果が出ている」と回答
- ・湖沼・河川の保全については、個人の48.2%、法人の66.2%が「成果が出ている」または「どちらかといえば成果が出ている」と回答
- ・森林湖沼環境税の仕組み（税額等）や税を活用した取組みについては、個人の71.4%、法人の86.8%が「賛同する」または「どちらかといえば賛同する」と回答

1 調査概要

【個人】実施時期	令和8年2月17日（火）～3月2日（月）
実施方法	いばらきネットモニター制度により実施
実施対象	モニター登録者（1,603名）
回収結果	1,104名（回答率68.9%）
【法人】実施時期	令和8年3月2日（月）～5月15日（金）
実施方法	県HP内のアンケートフォームにて回答
実施対象	企業・団体
回収結果	68社・団体

2 調査結果（主な回答と回答率）

	個人	法人
問1 「森林湖沼環境税」の認知度 ・「森林湖沼環境税」について、少なくとも名称を知っている	47.8%	77.9%
問2 森林の重要な役割 ・「雨水を蓄え水源を維持したり、水をきれいにしたりする」 （個人・法人とも最多）	88.1%	85.3%
問3 湖沼・河川の重要な役割 ・「水道用水や工業用水、農業用水などの水資源を安定的に確保する」 （個人・法人とも最多）	89.3%	91.2%
問4 森林の保全のために必要な取組み ・「再造林（植栽）や間伐などの森林整備の促進によるCO ₂ 固定等の森林の機能向上」 （個人・法人とも最多）	76.7%	82.4%
問5 湖沼・河川の保全のために必要な取組み ・「下水道への接続や、高度処理型浄化槽の設置などによる、生活排水の適正な処理」 （個人・法人とも最多）	84.4%	88.2%
問6 森林の保全の実績についての評価 ・「成果が出ている」または「どちらかといえば成果が出ている」	42.4%	60.3%
問7 湖沼・河川の保全の実績についての評価 ・「成果が出ている」または「どちらかといえば成果が出ている」	48.2%	66.2%
問8 「森林湖沼環境税」の仕組み等への考え方 ・「賛同する」または「どちらかといえば賛同する」	71.4%	86.8%